

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 124	提案機関名 環境農政局 水・緑部 水産課
要望問題名 東京湾ナマコ資源の管理手法に係る研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、東京湾の底びき網漁業は漁獲の主力となるシャコ、マコガレイの不漁が続き、厳しい漁業経営を強いられている。減少する漁獲収入を補うため、漁業者は中国への輸出により単価が上昇したナマコを漁獲しており、今やナマコは底びき網漁業にとって欠かすことのできない重要な漁獲対象資源となっている。 しかし、東京湾のナマコについてはこれまで十分な調査が行われておらず、資源量や分布特性など基礎的知見は得られていない。ナマコは移動性に乏しく、漁獲対象となるまで3年程度かかるため、乱獲により資源が枯渇する恐れがある。そこで、東京湾のナマコ資源を資源管理のもと持続的に利用するため、以下の調査を実施することを要望する。 ① 東京湾におけるナマコの漁獲実態（地区別季節別の操業日数、漁獲量、CPUE）を漁協の水揚げ資料から明らかにすること。 ② ①のCPUEと累積漁獲量の関係からDeLury法により漁場の初期資源量を推定すること。 ③ 漁獲調査および標本船調査によりナマコの分布特性（季節性移動、底質選択性、密度の違い）を明らかにすること。 ④ 上述の調査をふまえて、ナマコ資源の有効な管理手法（漁獲量上限、禁漁区、増殖適地、増殖構造物など）を提言すること。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	資源環境部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	東京湾ナマコ資源増大調査の中で、ナマコ資源の持続的利用を考える上で、必要な資源量推定、生態を考慮した資源管理手法研究に努めてまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			